



あすなろだより

2013年3月29日

発行 三重県立^{こども}小児心療センター あすなろ学園 広報担当
〒514 0818 三重県津市城山1 12 3 TEL.059 234 8700 FAX. 059 234 9361
MAIL: asunaro@pref.mie.jp URL: http://www.pref.mie.lg.jp/ASUNARO/HP/

～あすなろ学園 50周年記念特集～

あすなろ学園の“いま”をご紹介します！

今回は、「病棟での生活」と「ニコニコグル プ（重度精神遅滞を伴う広汎性発達障害児の入院治療グル プ）」、「あそび臨床おもしろクラブ」です。

病棟での生活

あすなろ学園に入院している子どもは、様々なこころの問題を抱えています。家庭や学校など地域社会で不適応を起こした子どもが、退院後、地域での生活に適應できるように支援しています。子どもは常に成長・発達していることを踏まえ、病棟は「治療の場」と同時に「子どもを育てる場」として治療環境を整えることを心掛けています。

子どもたちが入院する病棟は、1-東・西病棟、2病棟に分かれています。1-東・西病棟では、幼児・小学生男女・中学生女子の入院治療を行い、2病棟は、小学5年生から中学3年生までの男子思春期病棟になっています。年齢や性別、疾病によって病棟は異なりますが、入院生活を送るなかでの“きまり”は共通になっています。「生活の約束」は、あすなろ学園に入院している子どもたちが、仲良く過ごすための“きまり”です。その中には、日課や服装・頭髪、外出・外泊、小遣いなどの約束ごとがあります。入院した日から「生活の約束」に沿って病棟生活を送ることになります。

それでは、病棟での子どもたちの大まかな一日のながれを紹介します。決められた時間に起床、食事、登校準備をし、敷地内に併設された分校に通います。



<あすなろの一日>

6時30分	起床・更衣
7時	朝食
7時30分	洗面・歯磨き
8時	登校準備
8時25分	登校
12時10分	下校・昼食
12時50分	登校
	下校後、宿題・時間割、 集団活動に参加（小学生）
15時	おやつ
	集団活動に参加（中学生）
	入浴、余暇時間（自由時間）
18時	夕食
18時30分	余暇時間（自由時間）
19時55分	小学生就床準備
20時55分	中学生就床準備
21時	消灯

分校での授業を終えた後は、子どもの成長・発達に応じて構成された集団活動に参加します。活動の内

容は、集団遊びや運動・買い物・身辺整理・制作・調理などで、計画的に行っています。また、一年を通じて四季の行事が組み込まれ、花見・プール外出やバーベキュー・学園祭・一年の締めくくりとしてお楽しみ会などがあります。職員と共に活動し、今まで経験しなかったことを体験することにより、自信に繋がっていきます。集団活動後は余暇時間となり、子どもの自由な時間です。疾病の特性や障がいから、上手く友達と遊べない子どもたちがトラブルにならないよう、職員が子どもの遊びのなかに入ったり、見守ったりしながら、楽しく遊べるように支援します。数か月経過するといつの間にかそれぞれの遊びの仲間ができており、そんな姿をみると微笑ましくなります。余暇時間を終えると就床時間となります。就床前にその日のできごとを職員と一緒に振り返り、病棟の一日は終わります。↑

↓ 子どもの病棟生活には、いろいろな職種の職員が関わっています。医師、看護師、保育士、心理職、福祉技術職員、教員などの多職種が連携しながら入院治療を行っています。それぞれの職種の専門性を活かしながら子どもの育ちを保障し、退院後に地域で適応できるように入院治療に携わっています。年度末は退院・入院が重なる時期となり、病棟は慌ただしくなります。退院日を迎えた子どもは、入院した時に比べてすいぶん成長しています。子どもの持っている力は計り知れないものです。病棟として、ご家族のかたや子どもの希望に沿える治療・支援ができるように、頑張っていきたいと考えています。



ニコニコグループ

当園に入院している精神遅滞を伴う広汎性発達障害の子どもたちの活動を“ニコニコグループ活動”と呼んでいます。運動や基本的な ADL（日常生活動作）を題材とした集団活動を用いて、子どもの身体機能の向上、集団行動スキルの獲得、生活スキルの向上をめざしています。曜日ごとに目的を決めて年間計画を立てて取り組んでおり、活動の基本的な流れは右記のとおりです。

月曜日 室内あそび・歩行トレーニング

室内で手あそび・絵描き歌・パネルシアター・粘土あそびなどをした後、外に出て遊具あそび・坂道歩行・やりとりあそびなどに取り組みます。色々なあそびを経験することで余暇の過ごし方が



広がること、またあそびを通して約束を守ることや順番を待つことなどの社会的なスキルを習得することを目的としています。

ニコニコグループ活動の基本的な流れ

13時 10分	時間割、活動準備
13時 15分	始まりの挨拶・呼名・スケジュールの確認
13時 20分	各曜日のプログラム
<ul style="list-style-type: none"> 月曜日：室内あそび・歩行トレーニング 火曜日：歩行トレーニング 水曜日：病棟全体活動 木曜日：生活スキルトレーニング 金曜日：体育館での運動 	
14時 25分	振り返り・終わりの挨拶
14時 30分	終了

火曜日 歩行トレーニング

体力・持久力に合わせたコースを2つのグループに分かれて集団歩行トレーニングに取り組みます。集団のペースに合わせて歩くことで協調性を養い、長い距離を持続して歩くことで体力・持久力の向上を目的としています。また信号の見方や交通ルールを教えることで安全確認ができ危険回避の適応的な行動がとれるようになることをめざします。

水曜日 病棟全体活動

病棟全体での運動や調理など様々な活動に取り組みます。日々のグループ活動の集団とは違い病棟全体という大集団の中で活動することにより、集団適応能力の向上を目的としています。

木曜日 生活スキルトレーニング

買い物・入浴・歯磨き・更衣・掃除など生活スキルトレーニングに取り組みます。ADLの向上により自分でできることが増え生活の質が上がることをめざします。また買い物等の、より高度な生活機能が向上することによって、家庭や地域に戻った際に生活空間の幅が広がることを目的としています。

金曜日 体育館での運動

音楽に合わせて歩く・走る・ダンス・マットやトランポリンなどを使ったサーキットなど、体育

館でいろいろな運動をします。音楽のリズムやいろいろな道具に合わせて楽しみながら身体を動かし、さまざまな運動機能の向上を図ることを目的としています。

各曜日の活動は、およそ3か月ごとに目的の達成度を評価し、内容を変更しています。また、季節に合わせて夏にはプール遊びを取り入れたり、秋には学園祭出展に向けた製作活動を取り入れたりします。

子どもたちの特性に配慮しながら集団活動を展開し、より多くの体験を積み重ね、退院後、地域社会でスムーズに生活していけることを目標に日々活動を行なっています。



あそび臨床おもしろクラブ

■ “あそび臨床おもしろクラブ” とは…？

病棟での日々の活動を通して身につけたスキルを、学園全体という大集団の中で発揮できるよう、学園内全ての職員が携わり様々な活動を企画・実施する取り組みが“おもしろクラブ”です。活動にはいろいろなあそびの要素があり、その中で大人が率先して“あそびを楽しむ”モデルを示し、集団でのあそびの成功体験が不足している子どもたちに、あそびへの入り方や楽しみ方を伝えていきます。大集団での成功体験を通して大きな自信・達成感を得ることができ、自己評価や社会性の向上にもつながります。また、あそびを通して人と関わることの楽しさが体験でき、コミュニケーションスキルや集団におけるルールの理解など、多くのことを学べる場でもあります。

それぞれの活動では、各病棟から選ばれた「こども委員」が職員とともに準備作業や当日の司会進行を行います。企画・準備に携わることで主体性を育みます。大集団を前にした緊張感の中で役割を担うことは子どもにとって負担が大きいものではありませんが、職員の支援を受けながらも役割を果たすことで大きな自信・成長へとつながります。

■今年度のおもしろクラブの活動から

5月 【ゲーム大会】

子どもと大人が4つのチームに分かれ、玉入れや障害物競走など様々なあそびを楽しみます。子どもから大人まで全員が楽しめるよう簡単なあそびを企画し、チームのみんなで協力しながら競い合います。大集団でのあそびを経験するだけでなく、新しくあすなる学園、あすなる分校に赴任した職員、先生と親睦を図ることができる場でもあります。



8月 【キャンプ】

2泊3日でキャンプを行い、非日常的な環境での様々な体験を通して、対人スキルの向上を目指します。対象となる子どもはその年のキャンプで掲げる治療目的によって様々で、今年度は21名の小学生が参加しました。各病棟より選出された子どもたちが数名のグループに分かれ、6月頃から始まる事前活動に参加します。事前活動は、あそびや調理の練習をするだけでなく、グループの仲間との関係を深め協調性を養う場でもあります。事前活動を通じて得られた仲間意識を、キャンプ当日には存分に発揮し、成功体験を積み重ねていきます。他にも仲間との協力を通して、周りへの気遣いができるようになったり、苦手なことに積極的に挑戦したりとたくさんの成長が見られ、大きな治療効果を得られる活動となっています。

10月 【学園祭】



入院している子どもたち全員が協力して舞台発表や作品展示などを行う、あすなる学園最大の療育活動です。日々の入院生活での取り組みの成果を家族や地域の皆様、関係機関の方など学園内外に幅広く見ていただける良い機会となっています。子どもたちは学園祭に向けて早い時期から作品作りや舞台発表の練習に熱心に取り組んでおり、職員も一体となって準備作業に取り組んでいます。大舞台での発表を経験することで子どもたちは大きく成長し、そこで得られた経験は自信・充実感へとつながります。

1月 【伝承あそび・餅つき大会】

「こま」や「けん玉」など昔ながらのあそびを、子どもと職員と一緒に体験することで楽しみを共有し、一体感を味わうことを目的とする活動です。年末年始の病棟での日常生活の中でもあそびを楽しみます。当日は得意技を披露したり様々な技に挑戦したりします。みんなであそびを楽しんだ後は、餅つき体験をしてつきたてのお餅を楽しみます。季節感を味わうことも目的の一つです。

3月 【お楽しみ会】

設定されたテーマに沿った発表内容を各病棟で考え、舞台発表を行います。年度の締めくくりとしてみんなで一体となって準備・発表に取り組み、達成感や満足感を味わうことが目的です。今年度のテーマは「仲間」でした。

～ お知らせ ～

例年開催していた“あすなる講演会・シンポジウム”は、来年度は講演会のみとなります。平成25年度講演会は、7月25日（木）午後、三重県総合文化センター文化会館中ホールにて実施予定です。

外来診療のご案内

（平成25年4月1日現在）

* 診察は完全予約制です。

都合により変更になる場合もあります。

● 診察予約電話番号 **059-234-9700**

〔 受付時間 9:00～12:00
(月～金) 13:00～16:30 〕

曜日	月	火	水	木	金
1 診	中島	西田	西田	大橋	大槻
2 診		中西	石田	中西	
3 診			大槻		
4 診	笹岡	中島	中野	柿元	中野